



2017年4月25日

各 位

会社名 蝶理株式会社
代表者名 代表取締役社長 先瀨 一夫
(コード番号 8014 東証第1部)
問合せ先 経営政策部長 河村 泰孝
(TEL. 03-5781-6201)

中期経営計画「Chori Innovation Plan 2019」に関するお知らせ

当社は、平成 29 年 4 月 25 日開催の取締役会において、2022 年度の経常利益 130 億円をビジョンとし 2017 年度～2019 年度を対象期間とする 3 カ年の新たな中期経営計画「Chori Innovation Plan 2019」(以下「Chori Innovation Plan 2019」という)を決議しましたので、お知らせします。

当社は、2014 年度～2016 年度を対象とした前中期経営計画「躍進 2016」(以下「躍進 2016」という)において、「連結経営基盤強化」、「人的基盤強化」、「新規開発・M&A」を基本戦略とし、その諸施策を着実に遂行し、海外事業の基盤強化、大型M&Aなどを実行しました。「躍進 2016」の最終年度である 2016 年度に連結経常利益は、過去最高益を更新しました。

「Chori Innovation Plan 2019」は、「躍進 2016」の諸施策を継承し、基本戦略については、「連結経営基盤強化」、「新規開発・事業投資、M&A」、「コーポレート・ガバナンス」、「人的基盤強化」と決めました。高機能・高専門性を基盤として、グローバルに進化・変化し続ける企業集団を実現し、更なる企業価値の増大を図って参ります。

概要につきましては、添付資料をご参照下さい。

添付資料 : 中期経営計画「Chori Innovation Plan 2019」

以 上



あなたの夢に挑戦します。

中期経営計画

2017 - 2019年度

「Chori Innovation Plan 2019」

～新たなステージへ～

2017年4月25日

蝶理株式会社

- ① 前中期経営計画「躍進2016」の振り返り
- ② 中期経営計画「Chori Innovation Plan 2019」
 - 1. 将来像・基本方針
 - 2. 基本戦略
 - 3. 中期計画の位置付け
 - 4. 事業別戦略 ～ 繊維事業 ～
 - 5. 事業別戦略 ～ 化学品・機械事業 ～
 - 6. 配当方針
 - 7. 2019年度 計数計画
- ③ 参考資料 海外拠点

前中期経営計画

1

「躍進2016」の振り返り

(2014-2016年度)

1 前中期経営計画「躍進2016」の振り返り

収 益

- 2016年度経常利益 : 70億円⇒過去最高益更新(2011年度:61億円)
- 3期累計の経常利益 : 計画205億円 実績185億円⇒達成率90%
- 3期累計の当期純利益 : 計画132億円 実績132億円⇒計画達成

財 務 基 盤

- 2013年度末 自己資本:363億円 自己資本比率:46%
⇒2016年度末 自己資本:463億円 自己資本比率:47%
- 2016年度 経常利益ROA : 7.1%

投 資

- M&A・事業投資実績 : 3ヶ年合計 91億円
- 大型M&Aの実行 : ミヤコ化学(株)の子会社化 出資額66億円(2015年5月)

配 当

- 配当性向20% 4期連続増配
2013年度 : 33円(一株当たり) ⇒ 2016年度 : 40円 (一株当たり)
- 2016年度中間配当を再開

1 前中期経営計画「躍進2016」の振り返り

POINT	● 2015年度	売上高	: ミヤコ化学(株)M&Aにより前年比大幅増収
		経常利益	: 繊維事業の構造改革損失を主因に前年比減益
		当期純利益	: 投資有価証券売却益もあり、前年比増益
	● 2016年度	売上高	: 期中円高の影響を受け、貿易取扱高が減少し前年比減収
	経常利益	: 採算向上により過去最高益を更新	
	当期純利益	: 計画達成	

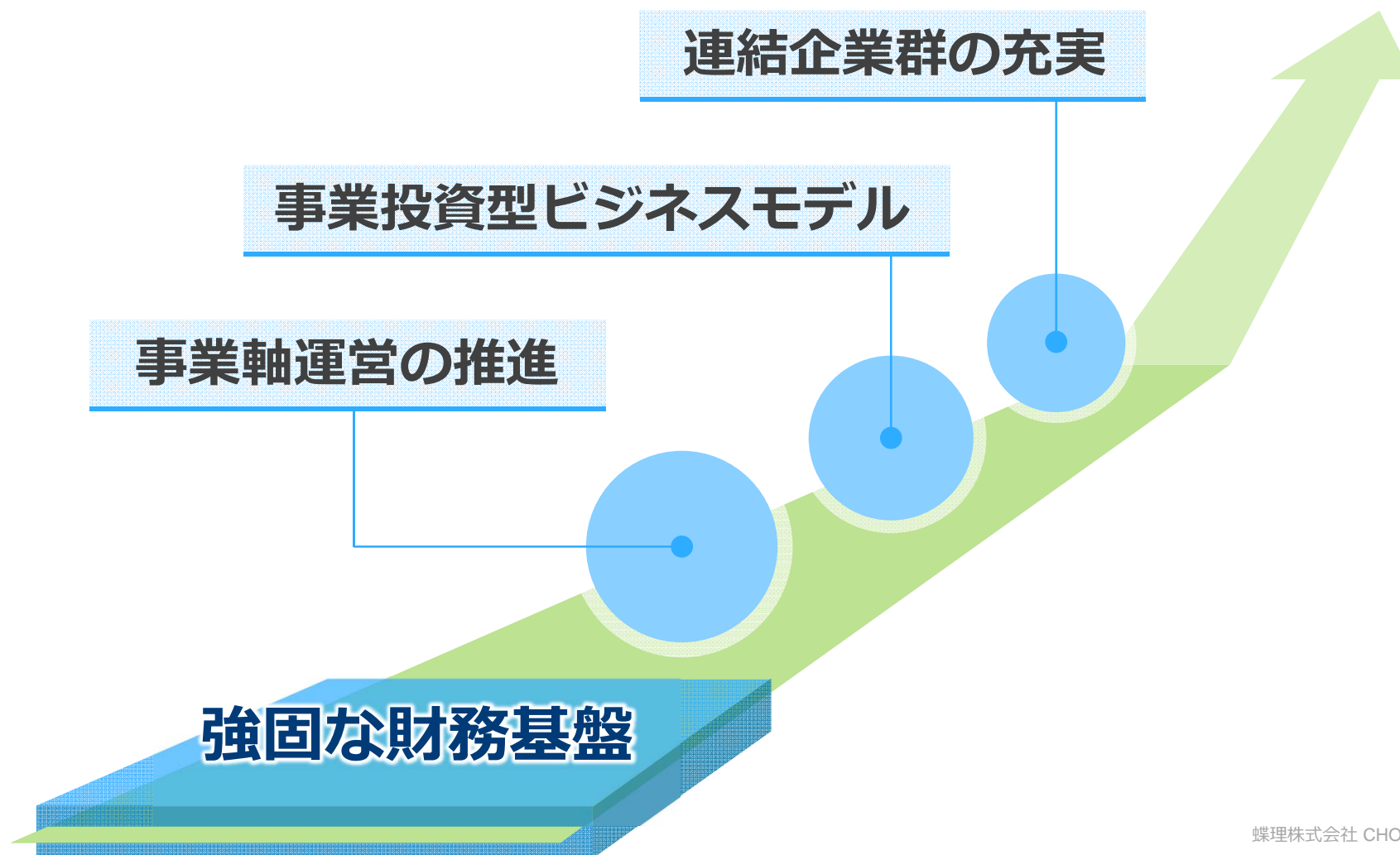
(単位：億円)

	2014年度 実績	2015年度 実績	2016年度 計画	2016年度 実績
売上高	2,484	2,916	3,000	2,709
経常利益	60	55	75	70
当期純利益	42	43	48	48
総資産	843	987	940	980
自己資本	414	428	470	463
経常利益ROA	7.1%	5.6%	8.0%	7.1%
当期純利益ROA	4.9%	4.4%	5.0%	4.9%
自己資本比率	49%	43%	50%	47%

2 中期経営計画 「Chori Innovation Plan 2019」 ～新たなステージへ～

1. 将来像・基本方針

新たなステージへ
(2022年度ビジョン 経常利益130億円)



2. 基本戦略①

中期経営計画

「Chori Innovation Plan 2019」

連結
経営基盤
強化

新規開発・
事業投資、
M&A

コーポレート
・ガバナンス

人的基盤強化

高機能・高専門性を基盤として、
グローバルに進化・変化し続ける企業集団

2. 基本戦略②

連結経営基盤強化

- 連結事業軸運営の推進
- グローバル化の更なる加速
- 情報基盤強化、業務効率化
- 東レグループとのシナジー拡大

新規開発・事業投資、M&A

- 成長分野・成長地域への重点投資
- 事業投資委員会の設置
- M&A推進委員会の継続
- ベンチャー企業への投資・育成

コーポレート・ガバナンス

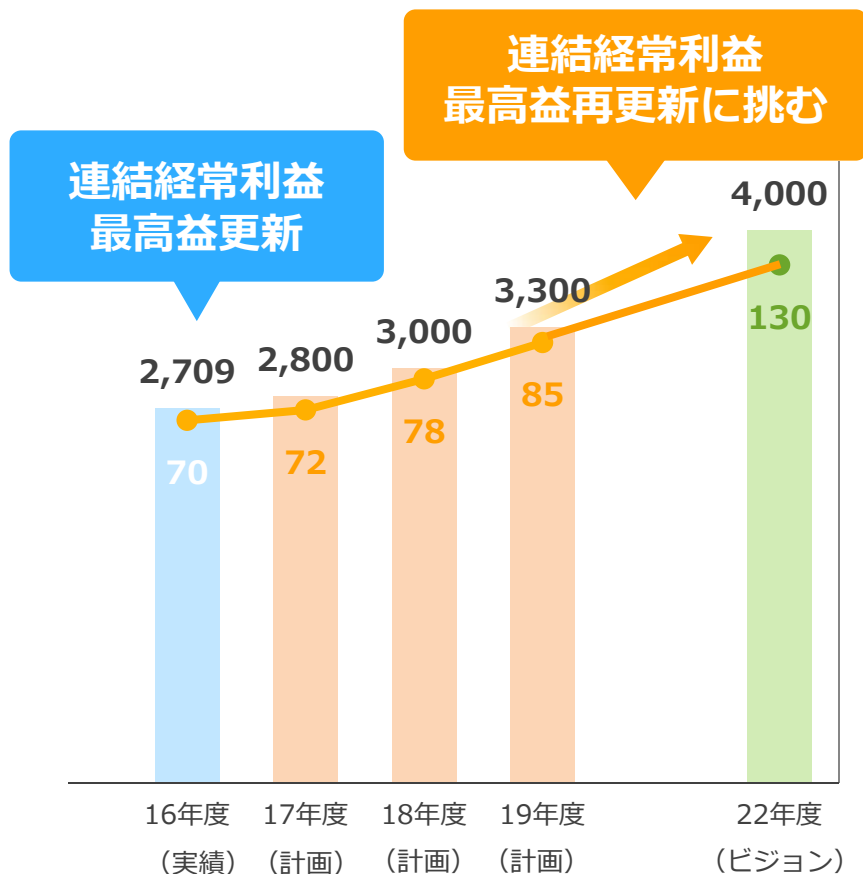
- 内部統制システムの強化
- グローバルリスクマネジメント
- CSR・IRの強化
- 配当方針の充実

人的基盤強化

- グローバル人材の育成
- 人事ポリシー策定
- グループ内人材の流動化
- 働き方改革(長時間労働対策)

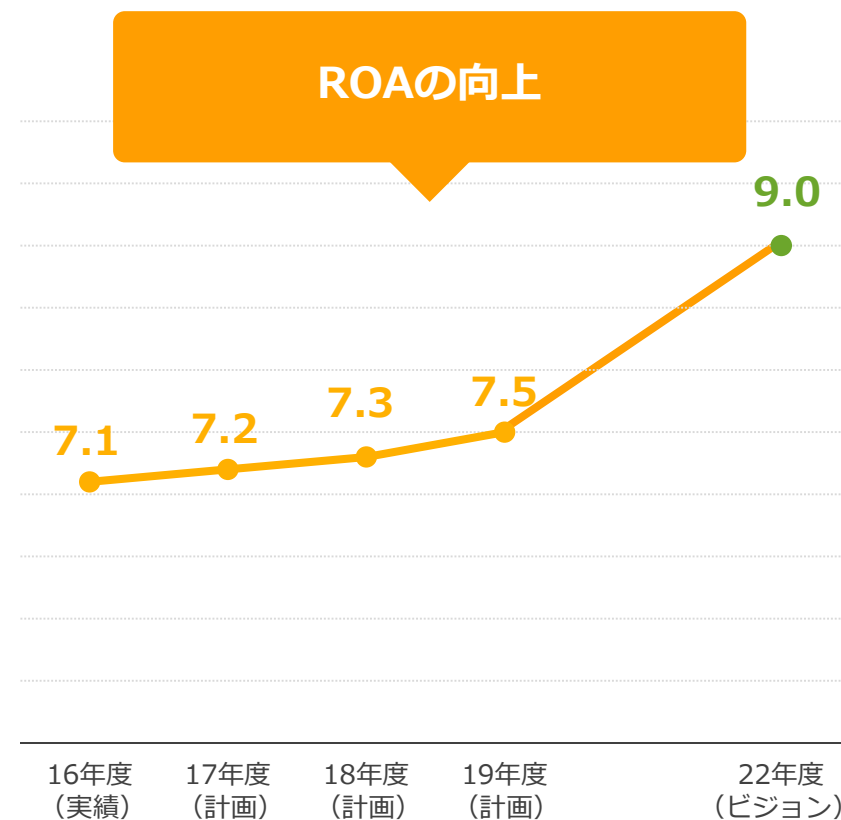
3. 中期計画の位置付け

■ 連結売上高 ■ 連結経常利益
(単位：億円)



ROA (経常利益ベース)

(単位：%)



4. 事業別戦略 ～ 繊維事業 ～

売上高 (億円)



経常利益 (億円)



① 繊維総合力強化

- 素材から縫製までの一貫型ビジネスを推進
- 最適運営体制へ再編 (2本部制から3本部制へ)

② グローバル展開の拡大(Global One Stop CHORI)

- 世界6極体制の確立 (日本、中国、アジア、米国、中南米、欧州)
- グローバルSCMの拡充
- 海外起点 (中国・ASEAN) ビジネスの拡大
- 生産基盤の強化 (中国・インドネシア)

③ 企画提案力の強化

- ファッションビジネスを蝶理MODA(株)へ業務移管
- 販売機能の適地移管・海外から直接貿易の推進 (大連・ベトナム・タイ・インドネシア)
- 蝶理オリジナル商材・環境商材の開発・拡販

5. 事業別戦略 ～ 化学品・機械事業 ～

売上高 (億円)



経常利益 (億円)



① トレーディングモデルから事業投資・コンバージョンモデルへの転換

- 事業投資の実行 ⇒ 調達確保、調達力強化（中国、チリ、ドイツ）
- コンバージョン力強化・深化（ファインケミカル、コンデンサー材料、加工食品等）
- 新規事業開発（環境商材、二次電池材料、医農薬原料等）

② グローバル化の更なる推進

- 海外取引の拡大（ASEAN強化、海外拠点の整備）
- 中国ビジネスの拡大（有力パートナーとの取組拡大）

③ 子会社群の拡充

- M&A子会社との協業強化（ミヤコ化学(株)、パイ・ティ・アイ・ジャパン(株)）
- 輸送機器事業の分社化・機動性の向上（2017年4月 蝶理マシナリー(株)設立）

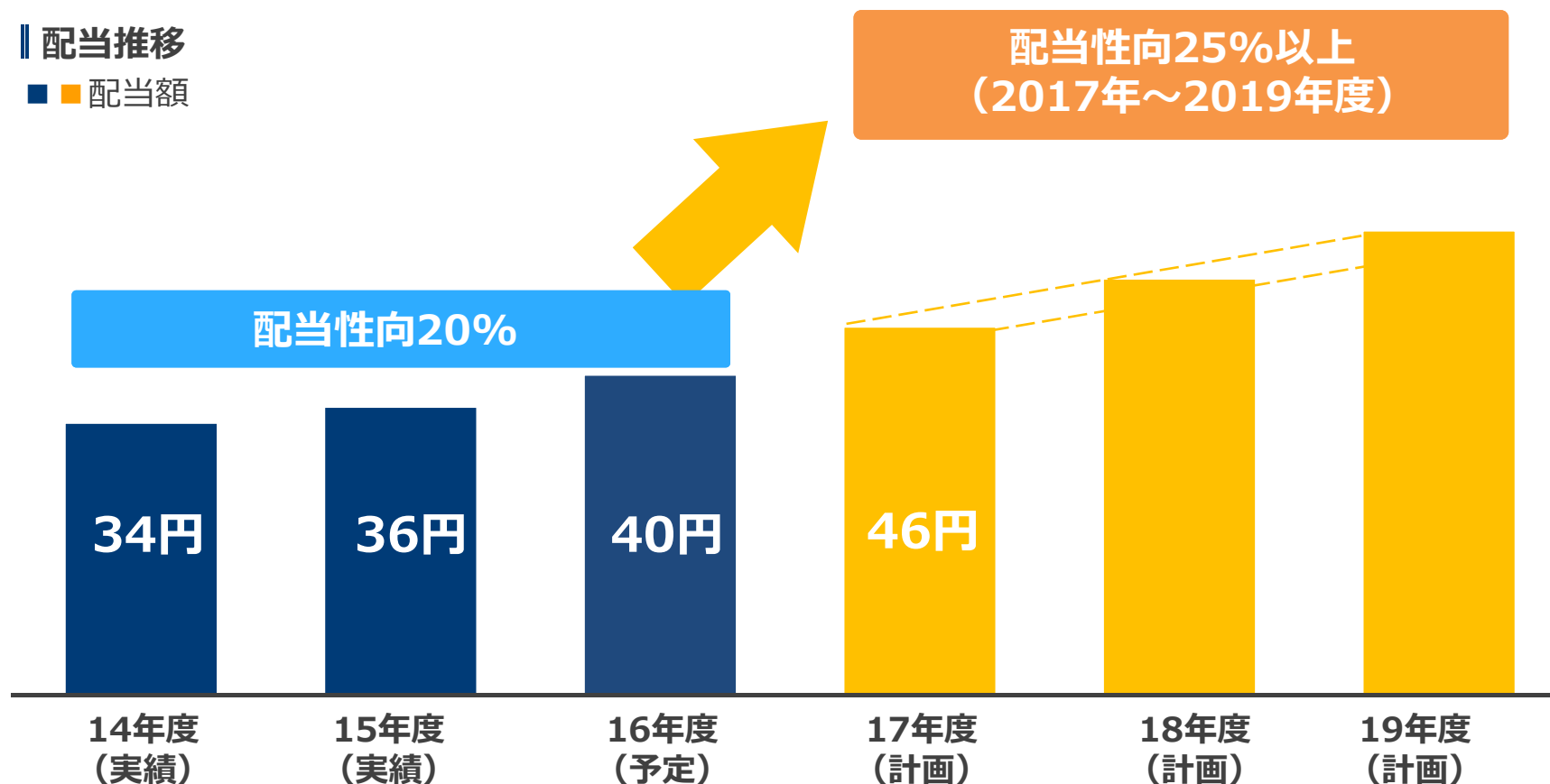
6. 配当方針

Ⅰ 配当の基本方針

成長戦略への投資資金の確保に留意しつつ、機動的な利益還元と経営・財務の安定性確保の観点から親会社株主に帰属する当期純利益の水準に応じた業績連動型配当を充実。

Ⅱ 配当推移

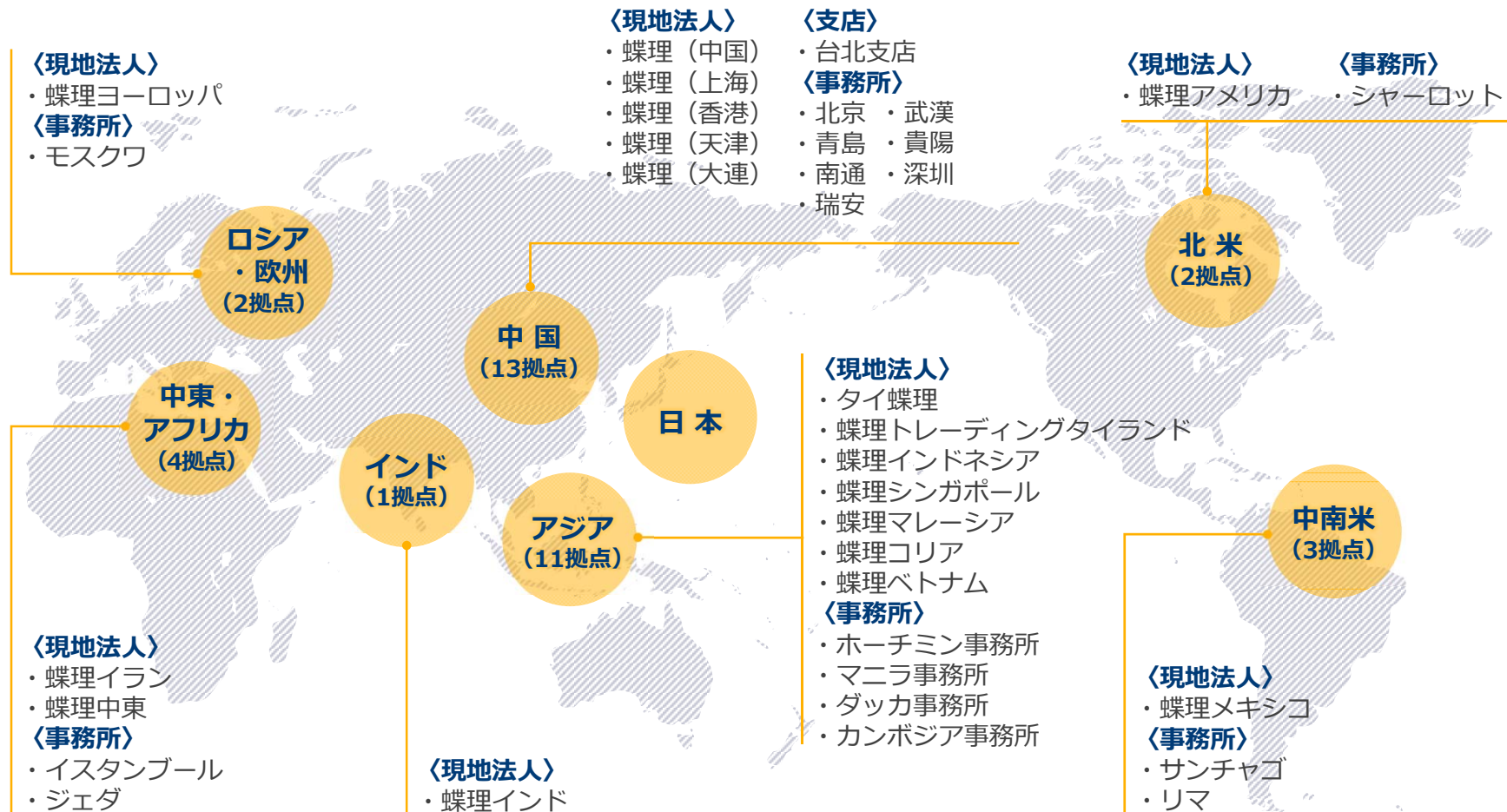
■ 配当額



7. 2019年度 計数計画

(単位：億円)

	2016年度 実績	2019年度 計画
売上高	2,709	3,300
経常利益	70	85
当期純利益	48	55
経常利益 R O A	7.1%	7.5%
当期純利益 R O E	10%	10%以上



● 現地法人	18拠点
● 支店・事務所他	18拠点 合計36拠点

CHORI

蝶理株式会社

本資料で記述されている業績予想並びに将来予測は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものです。本資料において当社の将来の内容・業績を保証するものではありません。

